お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心）愛称：資産の方舟

運用報告書（全体版）

第７期（決算日　2026年９月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心）」は、2026年９月10日に第７期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2019年12月16日）	
運用方針	「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心）」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」の運用方針です。 ①主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている上場投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①上場投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年９月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お金のデザイン
東京都中央区新川１丁目17番21号

＜照会先＞
電話番号：03-6629-7090
(受付時間：委託会社の営業日の９：30～17：00)
ホームページ：https://www.money-design.com/

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
３期(2022年９月12日)	15,098	0	25.7	100.5	17,922
４期(2023年９月11日)	16,321	0	8.1	98.6	8,812
５期(2024年９月10日)	18,034	0	10.5	98.8	10,337
６期(2025年９月10日)	22,701	0	25.9	97.8	17,625
７期(2026年９月10日)	30,113	0	32.7	98.6	29,615

（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注）当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

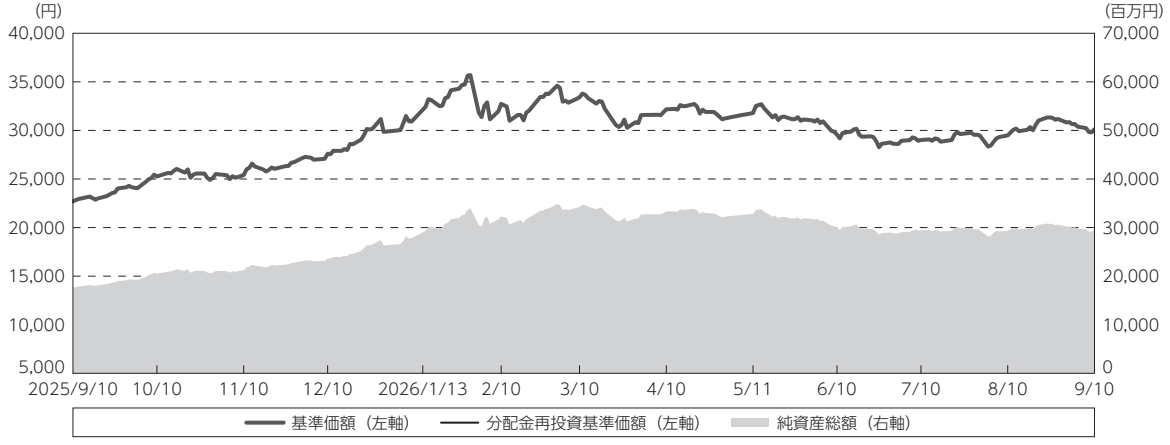
年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
（期　首）	円	%	%
2025年９月10日	22,701	－	97.8
９月末	24,290	7.0	98.0
10月末	25,511	12.4	98.4
11月末	26,733	17.8	98.1
12月末	29,852	31.5	98.4
2026年１月末	35,700	57.3	98.1
２月末	33,747	48.7	98.1
３月末	30,748	35.4	98.3
４月末	31,146	37.2	98.8
５月末	31,124	37.1	99.1
６月末	28,635	26.1	99.8
７月末	29,489	29.9	99.6
８月末	30,819	35.8	99.3
（期　末）			
2026年９月10日	30,113	32.7	98.6

（注）騰落率は期首比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2025年９月11日～2026年９月10日）

期中の基準価額等の推移



期　首：22,701円
期　末：30,113円(既払分配金(税込み)：0円)
騰落率：　32.7%(分配金再投資ベース)

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年９月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、＋32.7%となりました。

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期は貴金属価格が上昇したため、ファンドで保有する金、銀などのETFが基準価額に大きくプラス寄与しました。エネルギー関連株式ETFも上昇しプラス寄与となり、世界インフラ関連株式ETF、グローバルREITも小幅ながらプラスに寄与しました。一方、日本REITはマイナス寄与となりました。

前期末に１ドル147円台半ばだった米ドルは、積極財政への期待や米利下げ観測の後退から円安が進み、年末にかけて一時157円台となりました。2026年に入り介入警戒等から円高となったものの、中東情勢の悪化や米タカ派姿勢を受けて再び円安が加速し、６月には162円台まで進行しました。その後、７月末の日米協調介入で一時155円台まで反転し、日銀の利上げ観測の高まりなどから153円台後半で期末を迎えました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にプラスの影響をもたらし、パフォーマンスにもプラス寄与しています。

投資環境

世界の現物資産市場は、前期に引き続き米欧のインフレ動向およびFRB（米連邦準備制度理事会）や日銀など主要中央銀行の金融政策、米国の関税政策や為替の変動、中東やベネズエラ等における地政学的リスクなどを織り込みながら神経質な展開となりました。

エネルギー関連株式は、期初は需要不安や供給過剰感などを背景に一進一退の展開となりました。期中には、ベネズエラや中東での地政学的リスクの高まりや、イラン情勢悪化に伴うホルムズ海峡の封鎖懸念などによる原油価格急騰で株価は上昇しました。その後は和平交渉の進展による原油安で軟調に推移する局面もありましたが、中東での軍事衝突再燃や供給不足懸念などから期末にかけて持ち直しました。

貴金属価格は、FRBの利下げ観測や地政学的リスクの高まり、通貨価値の希薄化（ディベースメント）懸念などから、１月に史上最高値を更新しました。その後はタカ派と目される次期FRB議長指名報道や、利益確定売りなどから下落しました。期後半には主要国の金融引き締め観測や長期金利の上昇により調整する局面もありましたが、前期末比ではプラスを維持しました。

世界の不動産関連株式は、期初に米国の利下げ期待などで買い戻される場面もあったものの、期中には地政学的リスクに伴うインフレ懸念や長期金利の上昇などを受けて下落する局面もありました。期末にかけても主要中央銀行の利上げ警戒感などが重石となり、期を通じて上値の重い展開となりました。インフラ関連株式は、データセンター向けの電力需要などが支えとなったものの、米国の環境政策の後退懸念などから期末にかけて伸び悩みました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムに従って配分を変更しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項目	第７期 2025年９月11日～ 2026年９月10日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	20,112

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、世界株式急落時の下落抑制効果を最大化する資産配分アルゴリズムを用いて主として世界の実物資産ETFに投資することで、インフレーションから資産を守るだけでなく、長期的な配当も享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○１万口当たりの費用明細

（2025年９月11日～2026年９月10日）

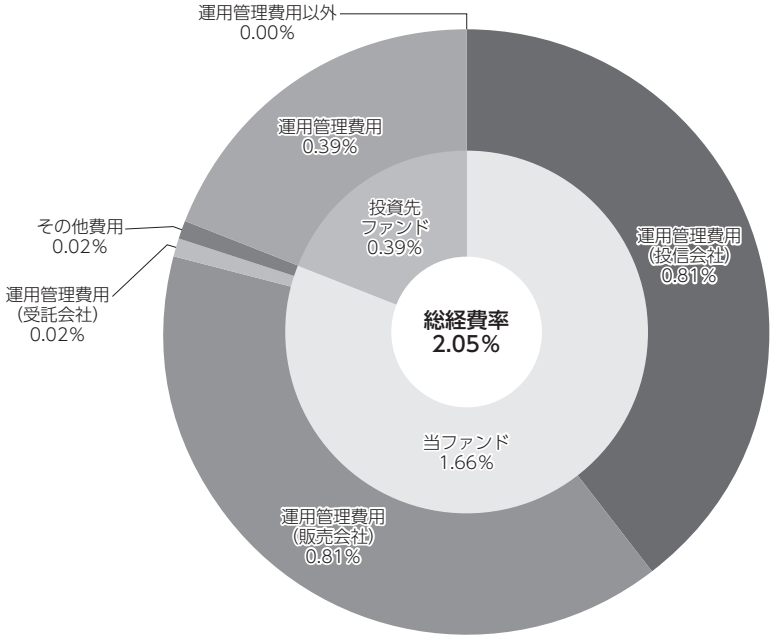
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	492	1.650	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(243)	(0.814)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(243)	(0.814)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	16	0.052	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(16)	(0.052)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	7	0.022	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(3)	(0.010)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	515	1.724	
期中の平均基準価額は、29,816円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**2.05**
①当ファンドの費用の比率	1.66
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年９月11日～2026年９月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	3,059,230	10,045,124	1,305,246	4,330,648

○利害関係人との取引状況等

（2025年９月11日～2026年９月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2025年９月11日～2026年９月10日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2026年９月10日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	7,086,404	8,840,387	29,615,299

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2026年９月10日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	29,615,299	98.5
コール・ローン等、その他	464,401	1.5
投資信託財産総額	30,079,700	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
（注）お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）において、当期末における外貨建純資産（27,090,063千円）の投資信託財産総額（29,665,857千円）に対する比率は91.3%です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝153.73円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年９月10日現在)

項　　目	当　期　末
	円
(A) 資産	**30,079,700,618**
コール・ローン等	414,171,052
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）（評価額）	29,615,299,779
未収入金	50,220,142
未収利息	9,645
(B) 負債	**464,391,194**
未払解約金	203,875,672
未払信託報酬	259,170,781
その他未払費用	1,344,741
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	**29,615,309,424**
元本	9,834,800,622
次期繰越損益金	19,780,508,802
(D) 受益権総口数	**9,834,800,622口**
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	**30,113円**

（注）当ファンドの期首元本額は7,764,069,530円、期中追加設定元本額は5,184,099,137円、期中一部解約元本額は3,113,368,045円です。

（注）１口当たり純資産額は3.0113円です。

○損益の状況 (2025年９月11日～2026年９月10日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	**374,189**
受取利息	374,189
(B) 有価証券売買損益	**4,673,786,586**
売買益	6,261,033,833
売買損	△ 1,587,247,247
(C) 信託報酬等	**△ 469,020,999**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**4,205,139,776**
(E) 前期繰越損益金	**3,142,863,269**
(F) 追加信託差損益金	**12,432,505,757**
（配当等相当額）	（ 6,481,749,304）
（売買損益相当額）	（ 5,950,756,453）
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**19,780,508,802**
(H) 収益分配金	**0**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**19,780,508,802**
追加信託差損益金	12,432,505,757
（配当等相当額）	（ 6,500,724,149）
（売買損益相当額）	（ 5,931,781,608）
分配準備積立金	7,348,003,045

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益（405,742,617円）、費用控除後の有価証券等損益額（3,799,397,159円）、信託約款に規定する収益調整金（12,432,505,757円）および分配準備積立金（3,142,863,269円）より分配対象収益は19,780,508,802円（１万口当たり20,112円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	0円

○お知らせ

・「一般社団法人日本投資顧問業協会」及び「一般社団法人投資信託協会」が2026年４月１日付で合併することに伴い、投資信託約款の「一般社団法人投資信託協会」の記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更する約款変更を行いました。（2026年４月１日）

お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）

運 用 報 告 書

第７期（決算日　2026年９月10日）
（2025年９月11日～2026年９月10日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信　託　期　間	原則として、無期限です。（設定日：2019年12月16日）
運　用　方　針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組　入　制　限	①投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨資産への投資割合には制限を設けません。

お金のデザイン

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
3期(2022年９月12日)	15,764	27.7	100.5	17,922
4期(2023年９月11日)	17,315	9.8	98.6	8,812
5期(2024年９月10日)	19,450	12.3	98.8	10,337
6期(2025年９月10日)	24,872	27.9	97.8	17,625
7期(2026年９月10日)	33,500	34.7	98.6	29,615

（注）当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
（期　首）	円	%	%
2025年９月10日	24,872	－	97.8
９月末	26,636	7.1	97.9
10月末	28,012	12.6	98.2
11月末	29,386	18.1	97.8
12月末	32,847	32.1	97.9
2026年１月末	39,305	58.0	97.6
２月末	37,209	49.6	97.6
３月末	33,957	36.5	98.2
４月末	34,444	38.5	98.6
５月末	34,465	38.6	98.7
６月末	31,767	27.7	99.2
７月末	32,755	31.7	98.9
８月末	34,269	37.8	98.5
（期　末）			
2026年９月10日	33,500	34.7	98.6

（注）騰落率は期首比です。

○運用経過

（2025年９月11日～2026年９月10日）

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、＋34.7%となりました。

当期は貴金属価格が上昇したため、ファンドで保有する金、銀などのETFが基準価額に大きくプラス寄与しました。エネルギー関連株式ETFも上昇しプラス寄与となり、世界インフラ関連株式ETF、グローバルREITも小幅ながらプラスに寄与しました。一方、日本REITはマイナス寄与となりました。

前期末に１ドル147円台半ばだった米ドルは、積極財政への期待や米利下げ観測の後退から円安が進み、年末にかけて一時157円台となりました。2026年に入り介入警戒等から円高となったものの、中東情勢の悪化や米タカ派姿勢を受けて再び円安が加速し、６月には162円台まで進行しました。その後、７月末の日米協調介入で一時155円台まで反転し、日銀の利上げ観測の高まりなどから153円台後半で期末を迎えました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にプラスの影響をもたらし、パフォーマンスにもプラス寄与しています。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の現物資産市場は、前期に引き続き米欧のインフレ動向およびFRB（米連邦準備制度理事会）や日銀など主要中央銀行の金融政策、米国の関税政策や為替の変動、中東やベネズエラ等における地政学的リスクなどを織り込みながら神経質な展開となりました。

エネルギー関連株式は、期初は需要不安や供給過剰感などを背景に一進一退の展開となりました。期中には、ベネズエラや中東での地政学的リスクの高まりや、イラン情勢悪化に伴うホルムズ海峡の封鎖懸念などによる原油価格急騰で株価は上昇しました。その後は和平交渉の進展による原油安で軟調に推移する局面もありましたが、中東での軍事衝突再燃や供給不足懸念などから期末にかけて持ち直しました。

貴金属価格は、FRBの利下げ観測や地政学的リスクの高まり、通貨価値の希薄化（ディベースメント）懸念などから、１月に史上最高値を更新しました。その後はタカ派と目される次期FRB議長指名報道や、利益確定売りなどから下落しました。期後半には主要国の金融引き締め観測や長期金利の上昇により調整する局面もありましたが、前期末比ではプラスを維持しました。

世界の不動産関連株式は、期初に米国の利下げ期待などで買い戻される場面もあったものの、期中には地政学的リスクに伴うインフレ懸念や長期金利の上昇などを受けて下落する局面もありました。期末にかけても主要中央銀行の利上げ警戒感などが重石となり、期を通じて上値の重い展開となりました。インフラ関連株式は、データセンター向けの電力需要などが支えとなったものの、米国の環境政策の後退懸念などから期末にかけて伸び悩みました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムに従って配分を変更しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、世界株式急落時の下落抑制効果を最大化する資産配分アルゴリズムを用いて主として世界の実物資産ETFに投資することで、インフレーションから資産を守るだけでなく、長期的な配当も享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○１万口当たりの費用明細

（2025年９月11日～2026年９月10日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 売買委託手数料	17	0.052	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(17)	(0.052)	
(b) 有価証券取引税	0	0.000	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	3	0.009	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	20	0.061	
期中の平均基準価額は、32,921円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2025年９月11日～2026年９月10日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		口	千円	口	千円
国内	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	1,251,930	2,658,927	1,646,330	3,239,338
国内	iシェアーズ・コア Jリート ETF	648,941	1,321,862	853,647	1,608,707
合計		1,900,871	3,980,790	2,499,977	4,848,046
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	abrdn Physical Platinum Shares ETF	106,447 (999,846)	8,307 (－)	210,923	7,723
	NORTHERN TRUST MORNINGSTAR GLBL UPSTM NT	230,429	11,885	14,189	719
	NORTHERN TRUST STOXX GLOBAL BROAD INFRAS	48,101	3,043	5,112	319
	ISHARES GOLD TRUST	147,451	12,525	217,423	17,732
	ISHARES GLOBAL ENERGY ETF	312,688	16,045	50,701	2,648
	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	75,641	4,894	14,167	904
	ISHARES SILVER TRUST	235,933	14,945	337,405	21,493
	ISHARES GLOBAL REIT ETF	327,880	8,463	319,896	8,674
	State Street SPDR S&P GL NAT RESOURCES	82,289	5,803	4,900	339
	VANECK AGRIBUSINESS ETF	241,265	19,586	4,105	303
	小計	1,808,124 (999,846)	105,500 (－)	1,178,821	60,859

（注）金額は受け渡し代金。
（注）（ ）内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2025年９月11日～2026年９月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年９月10日現在）

国内投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
NEXT FUNDS 東証ＲＥＩＴ指数連動型上場投信		1,147,820	753,420	1,438,655	4.9
ｉシェアーズ・コア Ｊリート ＥＴＦ		597,796	393,090	718,961	2.4
合計	口数・金額	1,745,616	1,146,510	2,157,617	
	銘柄数<比率>	2	2	<7.3%>	

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当期末			
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
abrdn Physical Platinum Shares ETF	94,194	989,564	16,971	2,608,955	8.8
NORTHERN TRUST MORNINGSTAR GLBL UPSTM NT	82,776	299,016	17,220	2,647,281	8.9
NORTHERN TRUST STOXX GLOBAL BROAD INFRAS	48,504	91,493	6,034	927,741	3.1
ISHARES GOLD TRUST	370,324	300,352	24,836	3,818,054	12.9
ISHARES GLOBAL ENERGY ETF	165,507	427,494	25,598	3,935,232	13.3
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	75,696	137,170	8,884	1,365,814	4.6
ISHARES SILVER TRUST	671,890	570,418	34,635	5,324,558	18.0
ISHARES GLOBAL REIT ETF	318,624	326,608	8,847	1,360,173	4.6
State Street SPDR S&P GL NAT RESOURCES	30,643	108,032	8,625	1,325,963	4.5
VANECK AGRIBUSINESS ETF	38,721	275,881	24,192	3,719,036	12.6
合計 口数・金額	1,896,879	3,526,028	175,846	27,032,813	
合計 銘柄数<比率>	10	10	－	<91.3%>	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

（2026年９月10日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	29,190,430	98.4
コール・ローン等、その他	475,427	1.6
投資信託財産総額	29,665,857	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
（注）当期末における外貨建純資産（27,090,063千円）の投資信託財産総額（29,665,857千円）に対する比率は91.3%です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝153.73円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年９月10日現在)

項　　目	当　期　末
	円
(A) 資産	29,665,857,560
コール・ローン等	445,668,632
投資信託受益証券(評価額)	29,190,430,715
未収配当金	29,749,168
未収利息	9,045
(B) 負債	50,220,142
未払解約金	50,220,142
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	29,615,637,418
元本	8,840,387,994
次期繰越損益金	20,775,249,424
(D) 受益権総口数	8,840,387,994口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	33,500円

(注) 当ファンドの期首元本額は7,086,404,475円、期中追加設定元本額は3,059,230,326円、期中一部解約元本額は1,305,246,807円です。

(注) 2026年９月10日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心）
8,840,387,994円

(注) １口当たり純資産額は3.3500円です。

○損益の状況 (2025年９月11日～2026年９月10日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	447,355,332
受取配当金	443,409,016
受取利息	3,946,316
(B) 有価証券売買損益	5,831,325,378
売買益	6,358,880,905
売買損	△　527,555,527
(C) 保管費用等	△　2,554,478
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	6,276,126,232
(E) 前期繰越損益金	10,538,630,637
(F) 追加信託差損益金	6,985,893,811
(G) 解約差損益金	△ 3,025,401,256
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	20,775,249,424
次期繰越損益金(Ｈ)	20,775,249,424

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

・「一般社団法人日本投資顧問業協会」及び「一般社団法人投資信託協会」が2026年４月１日付で合併することに伴い、投資信託約款の「一般社団法人投資信託協会」の記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更する約款変更を行いました。（2026年４月１日）